

科目名 ナンバリングコード	看護学概論Ⅰ NUS1121MN1	必修科目	1年次 1学期	講義・演習	1単位
科目責任者	医学部看護学科 教授 森本 紀巳子				
科目担当者	医学部看護学科 加悦 美恵、前野 里子、宮本 いずみ、三次 貴大、山田 泰子				
教育目標 到達目標	<p>教育目標</p> <p>1) 看護学の基本となる概念、“看護、人間、健康、環境”について基本的な知識を学修する。</p> <p>2) 事例検討をとおして人間の生活と看護の役割について、自分の考えを持ち、討議する能力を養う。</p> <p>到達目標</p> <p>1) 看護の歴史の変遷について理解する。</p> <p>2) 看護の対象である人間の特性と生活について理解する。</p> <p>3) 人間にとって健康とは何かを説明できる。</p> <p>4) 人間の生活と健康、環境との関連について説明できる。</p> <p>5) 保健医療福祉分野で活動する職種とその役割、チーム医療について知る。</p> <p>6) 事例をとおして看護の機能、役割について理解する。</p>				
授業計画					
授業回数	授業の内容	担当者等	準備学習 (予習・復習等)	必要 時間	
第1回	看護と法、看護の変遷、看護実践技術・倫理	森本【講義】	シラバス確認	20分	
第2・3回	人間とは<GW>: 成長・発達、共通性・個性、身体的・精神的・社会的側面の特徴	森本【講義・演習】	①人間とは	30分	
第4・5回	人間の生活<GW>: 成長・発達と生活習慣	森本【講義・演習】	②人間の生活の観察	120分	
第6・7回	健康と環境<GW>: 健康の概念、健康の段階、外的環境・内的環境、健康と環境の関連	森本【講義・演習】	③健康と環境	30分	
第8回	人間の生活と健康の関連	森本【講義】			
第9回	F・ナイチンゲール、V・ハンダーソンの看護<GW>	全員【講義・演習】	④先駆者の看護	120分	
第10～14回	事例に対する看護<PBL学習>: 対象の理解、看護の実践、多職種連携 保健医療福祉分野の職種・役割、チーム医療	全員【演習】	⑤⑥⑦ グループ課題	各30分	
第15回	事例検討結果プレゼンテーション 看護の組織・体制、看護の役割・機能の拡大	全員【演習】	⑧事例成果作成 ⑨看護機能の拡大	30分 30分	
テキスト	F・ナイチンゲール著、湯槇ます他訳：看護覚え書、現代社、2021 V・ハンダーソン著、湯槇ます・小玉香津子訳：看護の基本となるもの、日本看護協会出版会、2021				
参考書	その都度、紹介する。				
成績評価					
方法(割合)	基準				
筆記試験(60%) 受講態度(40%)	達成目標の達成度を正答率で評価する。 授業、グループ学習に参加する姿勢、レポート①～⑨の提出状況などをポイント化し、評価する。				
課題(レポート等)に対するフィードバック	レポート①～⑨は、発表・提出してもらい、採点後に返却する。 質問・意見にはその都度返答する。				

科目名 ナンバリングコード	生命・看護倫理 NUS1122MN1	必修科目	1年次 2学期	講義	1単位
科目責任者	医学部看護学科 教授 三橋 睦子				
教育目標 到達目標	<p>教育目標</p> <p>1) 保健・医療・福祉における、倫理、生命・人の尊厳について理解する。 2) 看護職者の職業倫理を理解し、看護職者が果たす倫理的責務、生命・人の尊厳について理解する。</p> <p>到達目標</p> <p>1) 生命倫理、医療倫理、臨床倫理などの関連領域の倫理の変遷を理解できる。 2) 医療・看護における倫理に関する規範・原則や指針（ヘルシンキ宣言等）について説明できる。 3) 医療の進歩に伴う倫理的課題の動向について説明できる。 4) 看護職者の倫理的責任と社会的（法的）責任について説明できる。 5) 医療や看護の現場における倫理的課題と調整方法について説明できる。 6) 多職種間での情報共有時における、個人情報保護や守秘義務の遵守への配慮について説明できる。 7) 薬害被害について倫理的に再考できる。</p>				
授業計画					
授業回数	授業の内容	担当者等	準備学習 (予習・復習等)	必要 時間	
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回 第12回 第13回 第14回 第15回	<p>生命倫理の変遷と課題</p> <p>患者の権利と生命倫理</p> <p>医療倫理の変遷と課題</p> <p>看護の責任と倫理、看護倫理の基礎</p> <p>看護職の責任：倫理的責任と社会的（法的）責任</p> <p>看護倫理の変遷と課題</p> <p>コンパッション、ケアリング、患者中心の看護</p> <p>患者情報と守秘義務</p> <p>医療者－患者関係におけるコミュニケーション</p> <p>B型肝炎当事者に学ぶ 医療者に必要な倫理的姿勢 (医学科との合同予定)</p> <p>臨地実習に必要な看護倫理</p> <p>倫理的意思決定のステップ（事例検討）</p> <p>看護実践で総合した倫理的問題について考える (原則に基づくアプローチ)</p> <p>サリドマイド薬害被害と真相</p> <p>最先端医療に関わる倫理</p>	<p>三橋【講義】</p> <p>三橋【講義】</p> <p>三橋【講義】</p> <p>三橋【講義】</p> <p>三橋【講義】</p> <p>三橋【講義】</p> <p>三橋【講義】</p> <p>三橋【講義】</p> <p>三橋【講義】</p> <p>特別講義講師【講義】</p> <p>三橋【講義】</p> <p>三橋【講義】</p> <p>三橋【講義】</p> <p>特別講義講師【講義】</p> <p>三橋【講義】</p>	<p>準備学習課題：</p> <p>1. ヒポクラテスの誓い 2. 医療倫理の4原則 3. バルセロナ宣言 4. ジュネーブ宣言とは 5. ICN 倫理綱領とは 6. 日本：看護師倫理綱領 7. リスボン宣言の原則 8. 患者の権利章典 9. オタワ憲章とは 10. ニュルンベルグ綱領 11. ヘルシンキ宣言 12. ベルモントレポート 13. ナイチンゲール誓詞 14. アドボカシーとは</p>	各回 30 分以上	
テキスト	小西恵美子編：看護倫理（改訂第3版）よい看護・よい看護師への道しるべ，南江堂，2021				
参考書	<p>ライ ST, ジョンストン MJ(2006)/ 片田範子, 山本あい子訳:看護実践の倫理 第3版, 日本看護協会出版会, 2010</p> <p>杉谷藤子・川合政恵：『看護者の倫理綱領』で読み解くベッドサイドの看護倫理事例 30, 日本看護協会出版会, 2007</p> <p>盛永審一郎・長島隆編：看護学生のための医療倫理, 丸善出版, 2012</p>				
成績評価					
方法（割合）	基準				
筆記試験（75%） レポート（15%） 出席状況・授業 での発表（10%）	<p>・到達目標の達成度を正答割合で評価する。</p> <p>・レポートの提出状況と内容をポイント化し、評価する。</p> <p>・出席状況と参加姿勢をポイント化し、評価する。</p>				
課題（レポート等）に対するフィードバック	課題（レポート等）は評価内容を講義時間内に伝える。				

科目名 ナンバリングコード	生活援助技術I NUS1221MN1	必修科目	1 年次 A クラス・B クラス 1 学期	講義・演習	2 単位
科目責任者	医学部看護学科 准教授 加悦 美恵				
科目担当者	医学部看護学科 森本 紀巳子、前野 里子、宮本 いずみ、三次 貴大、山田 泰子				
教育目標 到達目標	<p>教育目標</p> <ol style="list-style-type: none"> あらゆる看護場面において、さまざまな健康段階・発達段階にある人々の看護の基盤になる日常生活行動に関わる援助方法について、基礎的な知識・技術・態度を学修する。 人間の生活行動の“身体の動き”や“清潔行為”に規制や障害のある人の援助を行うために必要な基礎的な看護技術および知識、態度を身につける。 <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 臥床患者を動かす重要性および人間の自然な動きのメカニズムをふまえ、ボディメカニクスの原理を活用した運動と休息に関する援助を適切に実施できる。 身体の構造・機能をふまえ、患者へ配慮しながら清潔および排泄に関する援助を適切に実施できる。 援助にあたり、常に安全で快適な療養環境を整えることができる。 援助をとらして医療における安全、感染予防について考える。 				
授業計画					
授業回数	授業の内容	担当者等	準備学習（予習・復習等）	必要時間	
第1回	ガイダンス、感染予防、手洗い	加悦・宮本【講義】	実習室の探索	30分	
第2・3回	ボディメカニクス、ベッドメイキング	全員【講義・演習】	ベッドメイキング	60分	
第4・5回	運動の効用、安楽な体位、褥瘡予防	全員【講義・演習】	体位保持、体位変換	60分	
第6・7回	シーツ交換、寝衣交換	全員【講義・演習】	シーツ交換	60分	
第8回	衣生活の援助、快適な病床環境	全員【講義・演習】	寝衣交換	30分	
第9回	前半のまとめ	全員【講義・演習】	援助技術課題	60分	
第10・11回	身体の清潔、清拭の援助方法	全員【講義・演習】	清拭	60分	
第12・13回	臥床患者の全身清拭と足浴の援助	全員【講義・演習】	足浴	60分	
第14・15回	頭皮・頭髪の清潔、臥床患者の洗髪	全員【講義・演習】	洗髪	60分	
第16・17回	陰部の清潔とオムツ交換、療養環境調整	全員【講義・演習】	療養環境の観察・測定	60分	
第18・19回	床上排泄の援助	全員【講義・演習】	排泄の援助	60分	
第20・21回	車椅子・輸送車による移乗・移送の援助	宮本他【講義・演習】	車椅子の援助	60分	
第22・23回	総合演習、医療における安全	全員【講義・演習】	事例の患者の援助計画	60分	
テキスト	深井喜代子編：新体系看護学全書基礎看護学 基礎看護技術1・2、メヂカルフレンド社、2021 その他、必要時には資料を配布する。				
参考書	平田雅子著：完全版ベッドサイドを科学する - 看護に生かす物理学 - 学研、2021 他の参考書については、授業中に紹介する。				
成績評価					
方法（割合）	基準				
筆記試験（40%） 実技試験（60%）	筆記試験では到達目標に対する達成度を正答率で評価する。 実技試験では指定する事例課題に対する看護援助技術を評価する。 ただし、上記評価内容のいずれにおいても6割以上の達成を履修単位修得の基準とする。				
課題（レポート等）	に対するフィードバック レポートは点検後に返却しコメントを行う。				

科目名 ナンバリングコード	生活援助技術Ⅱ NUS1222MN1	必修科目	1年次 Aクラス・Bクラス 2学期	講義・演習	1単位
科目責任者	医学部看護学科 准教授 加悦 美恵				
科目担当者	医学部看護学科 森本 紀巳子、前野 里子、宮本 いずみ、三次 貴大、山田 泰子				
教育目標 到達目標	<p>教育目標</p> <ol style="list-style-type: none"> あらゆる看護場面において、さまざまな健康段階・発達段階にある人々の看護の基盤になる日常生活行動に関わる援助方法について、基礎的な知識・技術・態度を学修する。 日常生活を送るための身体内部の状態を理解し、客観的に観察する方法を身につける。 感染予防のための基本的知識・技術・態度を身につける。 <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> ひとの生命維持にかかわる生活行動としての食事に関する援助を、身体の構造・機能をふまえ、かつ対象の好み・習慣を尊重しながら、適切に実施できる。 健康にとって清潔の意味を理解し、患者の口腔内を清潔に保つことができる。 体温、呼吸、脈拍、血圧の正しい測定方法を身につけ、一般的な健康状態および日常生活行動による変動について説明できる。 体温調節の仕組みを理解して、罨法および日常生活の援助を実施できる。 無菌操作の技術を身につけ、対象に配慮しながら創傷処置を適切に実施できる。 				
授業計画					
授業回数	授業の内容	担当者等	準備学習(予習・復習等)	必要時間	
第1回	ガイダンス、口腔ケア	全員【講義・演習】	口腔ケアの方法	30分	
第2・3回	事例患者に行う食事援助	全員【講義・演習】	食事の援助計画	30分	
第4・5回	バイタルサインとは、体温・呼吸・脈拍測定	全員【講義・演習】	体温・呼吸・脈拍測定	60分	
第6・7回	血圧測定－触診法	全員【講義・演習】	血圧測定(触診法)	60分	
第8・9回	血圧測定－聴診法 意識状態の観察	全員【講義・演習】	血圧測定(聴診法)	60分	
第10・11回	体温調節の援助－罨法	全員【講義・演習】	罨法技術	60分	
第12・13回	無菌操作、創傷処置、包帯法	全員【講義・演習】	無菌操作、創傷処置	60分	
第14回	滅菌手袋の装着、ガウンテクニック	全員【講義・演習】	滅菌手袋	30分	
第15回	バイタルサインと日常生活行動・まとめ	全員【講義・演習】	事例患者の援助計画	60分	
テキスト	深井喜代子編：新体系看護学全書基礎看護学 基礎看護技術1・2、メヂカルフレンド社、2021 ※生活援助技術Ⅰと共通テキストである。				
参考書	授業中に紹介する。				
成績評価					
方法(割合)	基準				
筆記試験(50%) 実技試験(40%) レポート(10%)	<p>筆記試験では到達目標に対する達成度を正答率で評価する。</p> <p>実技試験では指定する事例課題に対する看護援助技術を評価する。</p> <p>ただし、上記いずれにおいても6割以上の達成を履修単位修得の基準とする。</p>				
課題(レポート等)に対するフィードバック	レポートは点検後に返却しコメントを行う。				